

万博開催時の交通マネジメントの実現

2025年に開催される大阪・関西万博は、多数の来場者による一般交通や周辺地域への影響を緩和するために、働きかけTDMやMaaSなど最新の交通マネジメント技術の導入に向けた検討が進められています。その中で、道路交通については、アクセス道路整備や局所改良などネットワークのハード対策に加えて、クルマの目的地となる駐車場についても、一体的に対策を講じる必要があります。このため、駐車場予約システムやETC情報などデジタルを活用したソフト対策について、官民連携で検討を進めます。

周辺駐車場のマネジメント

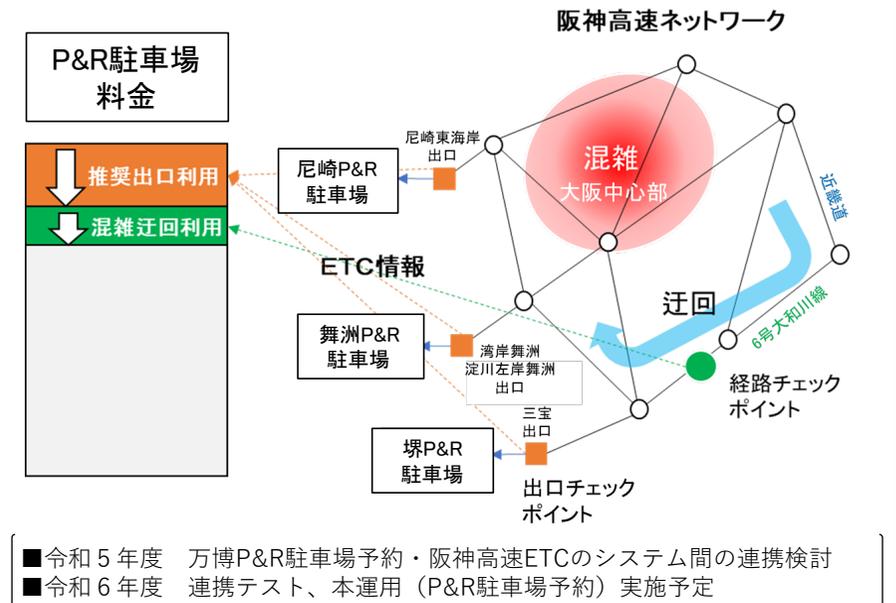
万博会場周辺や主要ターミナル駅周辺では、空き駐車場を探すための「うろつき交通」渋滞等の発生が懸念されるため、周辺駐車場への事前予約システムの導入を検討しています。



【関連ページ】大阪・関西万博 駐車場対策協議会

万博P&R駐車場料金による交通誘導

万博P&R駐車場（舞洲、尼崎、堺）のアクセスについて、一般道や周辺地域への影響低減の観点から最寄りの高速出入口利用や混雑区間からの迂回を誘導するため、ETC情報を活用した駐車料金のインセンティブ等による交通マネジメントを検討しています。



【関連ページ】万博駐車場交通連携システム検討会